

問1. 「教育文化のまちづくり」について

【現状評価】

1. 生まれや育ちにより差別されない平等な社会実現に関心がある
2. 男女が等しく参加・活躍できる社会環境がある
3. 青少年が心身ともに健全に育つことのできる環境がある
4. すべての児童・生徒が十分に学べる環境が提供されている
5. 時代に対応した学習環境のもとで教育がおこなわれている
6. 図書館や公民館を利用した学習環境が整っている
7. 子どもから高齢者まで誰でもスポーツに取り組める環境がある
8. 音楽や文学・芸術活動に触れる機会に恵まれている
9. 文化遺産の保存と活用がなされている

【満足度評価】

- 「教育文化のまちづくり」に対する満足度

「現状評価と満足度の関係性」

- 重回帰分析結果

《重要》 結果を見る前に確認してください

P8とP9-10の平均値の違いについて

P8に示される平均値とP9-10に示される平均値の値は若干異なります。これは、P8に示される数値が各項目に回答した回答者全員の平均値であるのに対して、P9-10に示される数値は重回帰分析の実施にあたり、問1の質問項目全てに回答した回答者の平均値を示しているためです。

P9-10の寄与率と有意確率・検定結果について

「寄与率」とは重回帰分析によって示された「現状評価が満足度評価に与える影響力の大きさ」です。「有意確率」とは、「影響(寄与)が偶然によるものかどうか」を統計的(確率的)に検定する基準です。統計的検定の仕組みは省きますが、社会調査では90%以上を統計的に信頼できると判断することが多く、検定結果では○で示してあります。なお100%は四捨五入の値であり、限りなく100%に近いことを意味しますが、影響の絶対性を保証するものではありません。また、各項目の寄与率の合計は通常100%にならず、多くの調査では50～60%となります。これは、本調査の項目以外に満足度に影響を与えるような無数のその他要因があるためです。

「ともに築く
自主と創造の田園都市」
実現に向けて

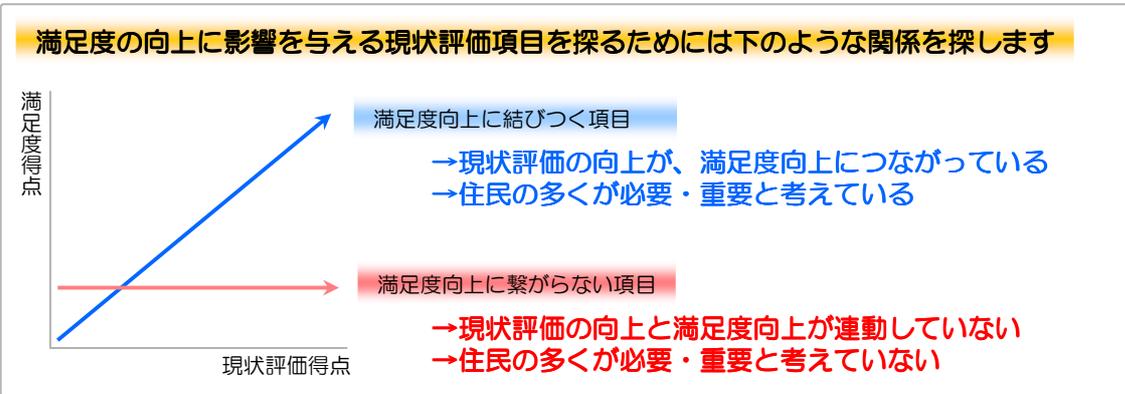
問1.「教育文化のまちづくり」において満足度を高める要因分析①

塩尻市において、「教育文化のまちづくり」に住民が満足するためにはどのようなことが求められているのかを **現状評価** と **満足度評価** の結果から分析をおこなった。



どのような **現状評価** 項目が改善・充実する(評価が上がる)と「教育文化のまちづくり」に対する **満足度評価** が向上するのかを「重回帰分析」と呼ばれる統計分析で検討し、今後の取組みの **重要度評価** をおこなった。

● 満足度評価に影響を与える現状評価項目の把握 (重回帰分析のしくみとなる相関について)



手続き①：重回帰分析の結果(寄与率順)

※寄与率・有意確率・検定結果についてはP7参照

評価項目	平均値	寄与率	有意確率	検定結果
(7)子どもから高齢者まで誰でもスポーツに取り組める環境がある	2.63	14.26%	99.97%	○
(5)時代に対応した学習環境のもとで教育がおこなわれている	2.76	14.20%	99.98%	○
(6)図書館や公民館を利用した学習環境が整っている	2.68	11.91%	99.84%	○
(2)男女が等しく参加・活躍できる社会環境がある	2.83	7.02%	99.72%	○
(4)すべての児童・生徒が十分に学べる環境が提供されている	2.84	3.91%	77.60%	-
(9)文化遺産の保存と活用がなされている	2.78	3.51%	89.55%	-
(8)音楽や文学・芸術活動に触れる機会に恵まれている	2.62	3.30%	79.56%	-
(3)青少年が心身ともに健全に育つことのできる環境がある	2.87	0.88%	24.89%	-
(1)生まれや育ちにより差別されない平等な社会実現に関心がある	3.29	-0.07%	6.70%	-

※ 上表の平均値が前頁得点とやや値が異なるのは、重回帰分析をおこなう上で問1の項目全てに回答している必要があり、アンケート回答に漏れがあった回答者を除いて再分析したため



「教育文化のまちづくり」に対して満足を感じるためには・・・

- 子どもから高齢者まで誰でもスポーツに取り組める環境がある
- 時代に対応した学習環境のもとで教育がおこなわれている
- 図書館や公民館を利用した学習環境が整っている
- 男女が等しく参加・活躍できる社会環境がある

満足度向上に影響(寄与)する項目

の4つの現状評価項目に関して改善や充実が必要である可能性が示された

重要度評価

問1. 「教育文化のまちづくり」において満足度を高める要因分析②

満足度評価 に影響を与える 現状評価 のうち、現在「低い」評価がされている項目と現在「高い」と評価されている項目を把握し、分野としての 重要度評価 をおこなった。

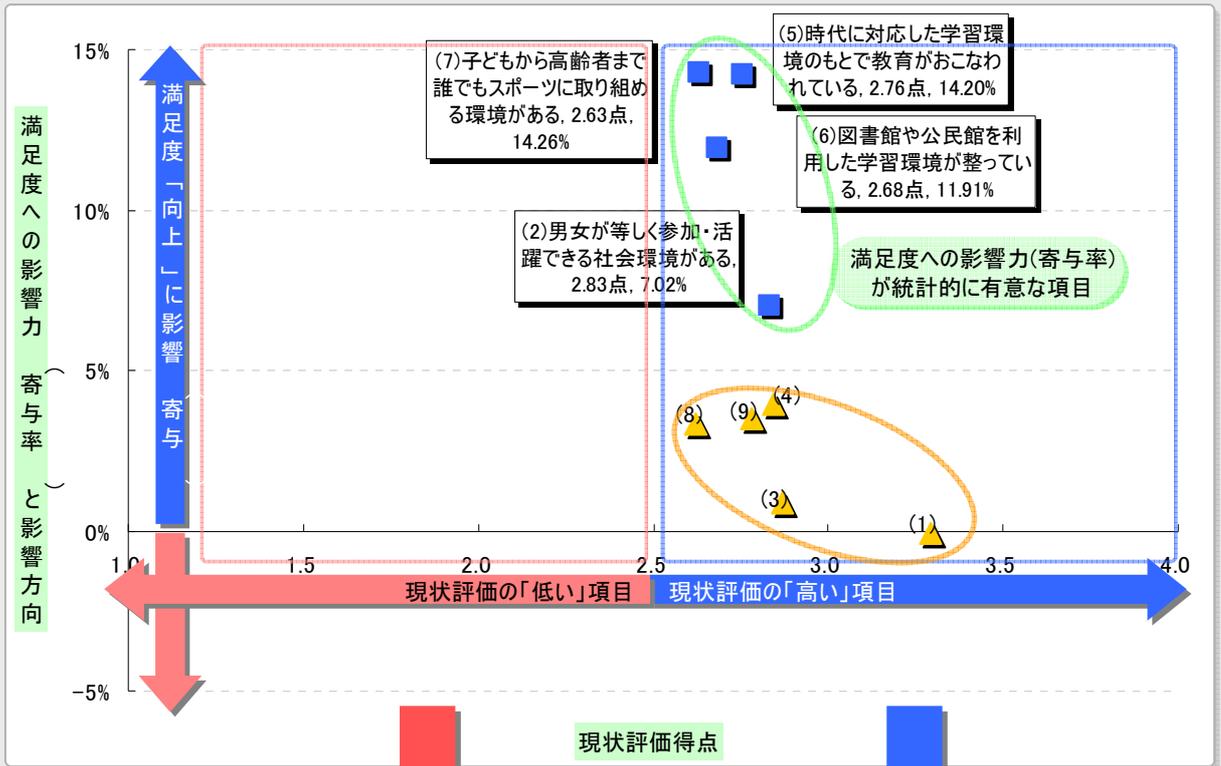
●満足度評価に影響を与える現状評価項目の把握（重要度把握のしくみ）

重要度の高い現状評価項目を探るには下のマトリクスを参考に結果を見ます

	現状評価【低い】	現状評価【高い】
満足度への影響力【大】	現状の大幅な改善・充実が早急に必要	現状を基準にさらに満足度向上を目指す
満足度への影響力【小】	現状評価の向上が必要	現状維持

手続き②：重要度分析の結果

統計的に影響力が無いと判断された項目の項目名は前頁の評価項目番号を参照



現状評価の「低い」項目において満足度に大きな影響を与える項目は見られなかった。

学習のための施設整備や男女や年齢の別による制限のない社会環境は満足度向上への影響力が大きい。現状の取組み状況はやや実現されていると考えられており、今後も継続的かつ更なる充実を検討する必要がある